

大饗の儀関係資料

- 1 次第書
- 2 豊明殿の布設図（配席図）
- 3 御座の布設図（御台盤，御椅子，剣璽案の形状図と配置図）
- 4 錦軟障
- 5 屏風（形状，寸法）
- 6 白酒黒酒（数量，醸造依頼先，杯の素材，形状等）
- 7 献物（色目） ← 献物の色目を奏した後使用
- 8 御膳及び膳（献立，配置図） ←大饗の儀時以降使用
- 9 挿華及び洲濱（意匠，形状，材質）

1 次第書

大饗の儀（第1日）

11月16日午前8時，豊明殿を装飾する。

午前11時40分，参列の諸員が休所に参集する。

午前11時45分，皇嗣，皇嗣妃，親王，親王妃，内親王及び女王が皇族休所に参集される。

次に参列の諸員が豊明殿に入る。

式部官が誘導する。

正午，天皇が豊明殿にお出ましになる。

式部官長及び宮内庁長官が前行し，侍従がそれぞれ剣及び璽を捧持し，皇嗣及び親王が供奉され，侍従長，侍従及び大礼副委員長が随従する。

次に皇后が豊明殿にお出ましになる。

式部副長及び侍従次長が前行し，皇嗣妃，親王妃，内親王及び女王が供奉され，女官長，女官及び大礼副委員長が随従する。

次に天皇が御座にお着きになり，侍従がそれぞれ剣及び璽を案上に置く。

次に皇后が御座にお着きになる。

次に天皇のお言葉がある。

次に代表者が奉答する。

次に天皇，皇后に白酒黒酒を供する。

次に諸員に白酒黒酒を賜る。

次に式部官長が悠紀主基両地方の献物の色目を申し上げる。

この時，両地方の献物を排列する。

次に天皇，皇后に御膳及び御酒を供する。

次に諸員に膳及び酒を賜る。

次に久米舞を奏する。

次に天皇，皇后に御穀物を再び供する。

次に諸員に穀物を再び賜る。

次に悠紀主基両地方の風俗舞を奏する。

次に大歌及び五節舞を奏する。

次に天皇，皇后に挿華を供する。

次に諸員に挿華を賜る。

次に天皇，皇后が御退出になる。

前行，供奉及び随従はお出ましのときと同じである。

次に諸員が退出する。

○

参列の範囲は、次のとおりとする。

内閣総理大臣，元内閣総理大臣及び副総理並びに以上の者の配偶者
国務大臣及び副大臣

衆議院の議長，元議長，副議長並びに以上の者の配偶者，常任委員長，
特別委員長，憲法審査会会長，情報監視審査会会長及び政治倫理審査会会
長

衆議院の議員 40 人（特記した議員及び副大臣である議員を除く。）及
び事務総長

参議院の議長，元議長，副議長並びに以上の者の配偶者，常任委員長，
特別委員長，調査会長，憲法審査会会長，情報監視審査会会長及び政治倫
理審査会会長

参議院の議員 21 人（特記した議員及び副大臣である議員を除く。）及
び事務総長

最高裁判所長官，元最高裁判所長官及び最高裁判所判事（長官代行）並
びに以上の者の配偶者，最高裁判所判事及び事務総長

内閣官房副長官（政務）

国立国会図書館長

東京都，栃木県及び京都府の知事及び議会議長

栃木県及び京都府の農業協同組合中央会会長

栃木県及び京都府の斎田の大田主及びその配偶者

その他別に定める者

○

服装

男子：モーニングコート，紋付羽織袴

女子：ロングドレス（ローブモンタント），デイドレス，白襟紋付

○

お列

式部官長 宮内庁長官 侍従（剣） 天皇 侍従（璽） 皇嗣 親王

侍従長 侍従 大礼副委員長

式部副長 侍従次長 皇后 皇嗣妃 親王妃 内親王 女王

女官長 女官 大礼副委員長

大饗の儀（第２日）

1 1 月 1 8 日 午前 8 時，豊明殿を装飾する。

午前 1 1 時 4 0 分，参列の諸員が春秋の間に参集する。

午前 1 1 時 4 5 分，皇嗣，皇嗣妃，親王，親王妃，内親王及び女王が皇族休所に参集される。

次に参列の諸員が豊明殿に入る。

式部官が誘導する。

正午，天皇が豊明殿にお出ましになる。

式部官長及び宮内庁長官が前行し，侍従がそれぞれ剣及び璽を捧持し，皇嗣及び親王が供奉され，侍従長，侍従及び大礼副委員長が随従する。

次に皇后が豊明殿にお出ましになる。

式部副長及び侍従次長が前行し，皇嗣妃，親王妃，内親王及び女王が供奉され，女官長，女官及び大礼副委員長が随従する。

次に天皇が御座にお着きになり，侍従がそれぞれ剣及び璽を案上に置く。

次に皇后が御座にお着きになる。

次に天皇のお言葉がある。

次に代表者が奉答する。

次に天皇，皇后に白酒黒酒を供する。

次に諸員に白酒黒酒を賜る。

次に式部官長が悠紀主基両地方の献物の色目を申し上げる。

この時，両地方の献物を排列する。

次に天皇，皇后に御膳及び御酒を供する。

次に諸員に膳及び酒を賜る。

次に久米舞を奏する。

次に天皇，皇后に御穀物を再び供する。

次に諸員に穀物を再び賜る。

次に悠紀主基両地方の風俗舞を奏する。

次に大歌及び五節舞を奏する。

次に天皇，皇后に挿華を供する。

次に諸員に挿華を賜る。

次に天皇，皇后が御退出になる。

前行，供奉及び随従はお出ましのときと同じである。

次に諸員が退出する。

○

参列の範囲は、次のとおりとする。

内閣法制局長官及び内閣官房副長官（事務）

検査官，人事官，公正取引委員会委員長，原子力規制委員会委員長，検事総長，次長検事，検事長及び高等裁判所長官

各省庁の事務次官等で宮内庁長官が指定する者

都道府県の知事及び議会議長（大饗の儀（第一日）に招待された者を除く。）

市及び町村の長及び議会議長の代表

各界の代表

その他別に定める者

○

服装

男子：モーニングコート，紋付羽織袴

女子：ロングドレス（ローブモンタント），デイドレス，白襟紋付

○

お列

式部官長 宮内庁長官 侍従（剣） 天皇 侍従（璽） 皇嗣 親王

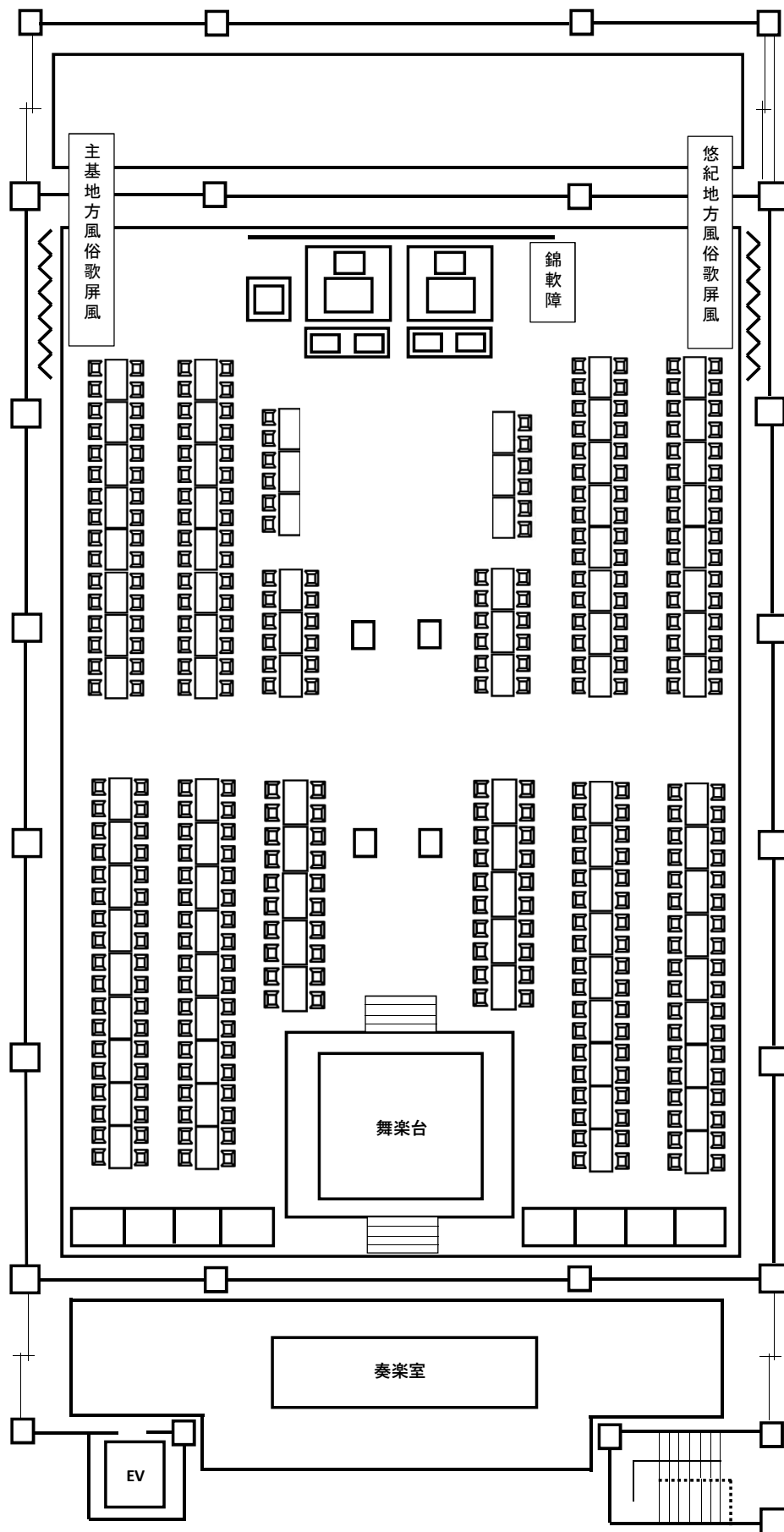
侍従長 侍従 大礼副委員長

式部副長 侍従次長 皇后 皇嗣妃 親王妃 内親王 女王

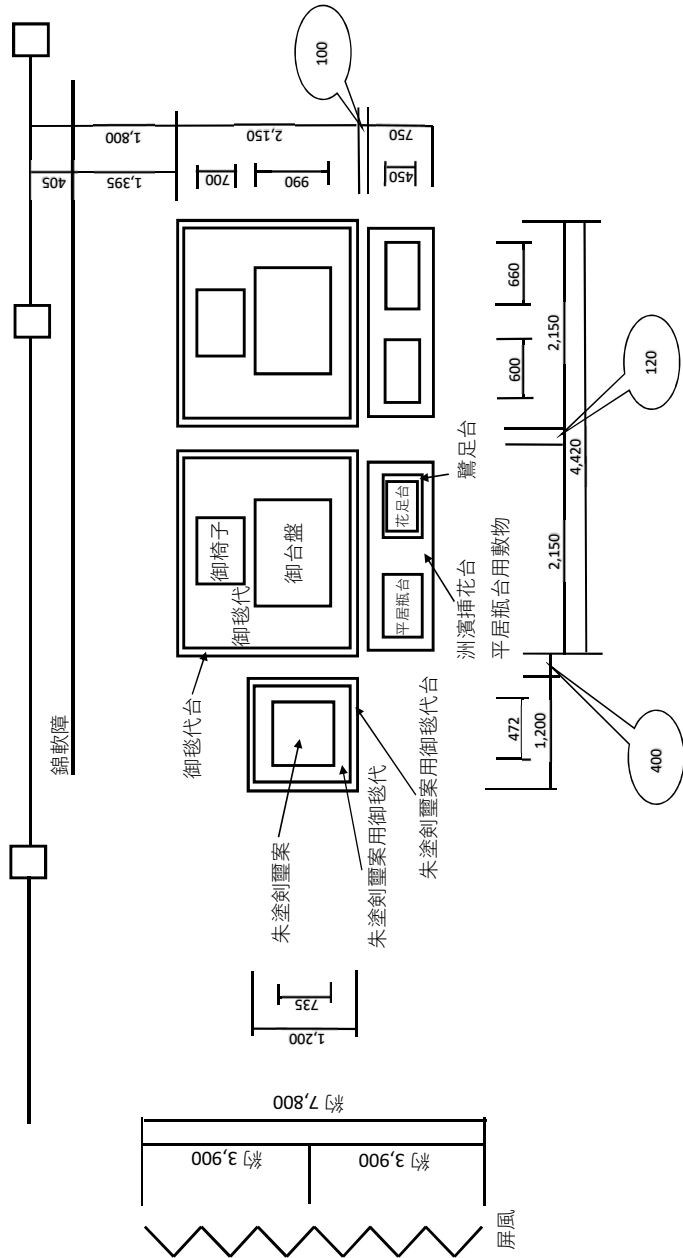
女官長 女官 大礼副委員長

大饗の儀（案）

2 豊明殿の布設図（配席図）



3 御座の布設図（御台盤、御椅子、剣璽案の形状図と配置図）



品名	巾	長さ	高さ	数量	備考
御台盤	995	1,212	770	2	
御椅子	700	700	994	2	
御座代	1,910	1,910	150	2	
御座代台	2,150	2,150	150	2	
朱塗剣璽案	472	735	642	1	地敷付
同上用御座代	960	960	150	1	
同上用御座代台	1,200	1,200	150	1	
鷹足台	450	660	785	2	卓被付
花足台	300	540	90	2	卓被付
平居瓶台	450	600	685	2	白緞子卓被付
洲濱挿花台平居瓶台用敷物	750	2,150	150	2	
錦軟障	10,400	4,900	4,900	1	
風俗敷屏風	4,100	2,400	2,400	2	巾は1隻

3 御座の布設図 (御台盤，御椅子，剣璽案の形状図と配置図)



御 椅 子



朱塗剣璽案

4 にしきのぜじょう 錦軟障

1 寸 法 高さ 12尺 約3.6m
幅 30尺8寸4分 約9.3m
縁 左右上下各2尺(紫色小葵模様) 約0.6m

2 図 柄 せんねんまつさんすいのず
千年松山水の図

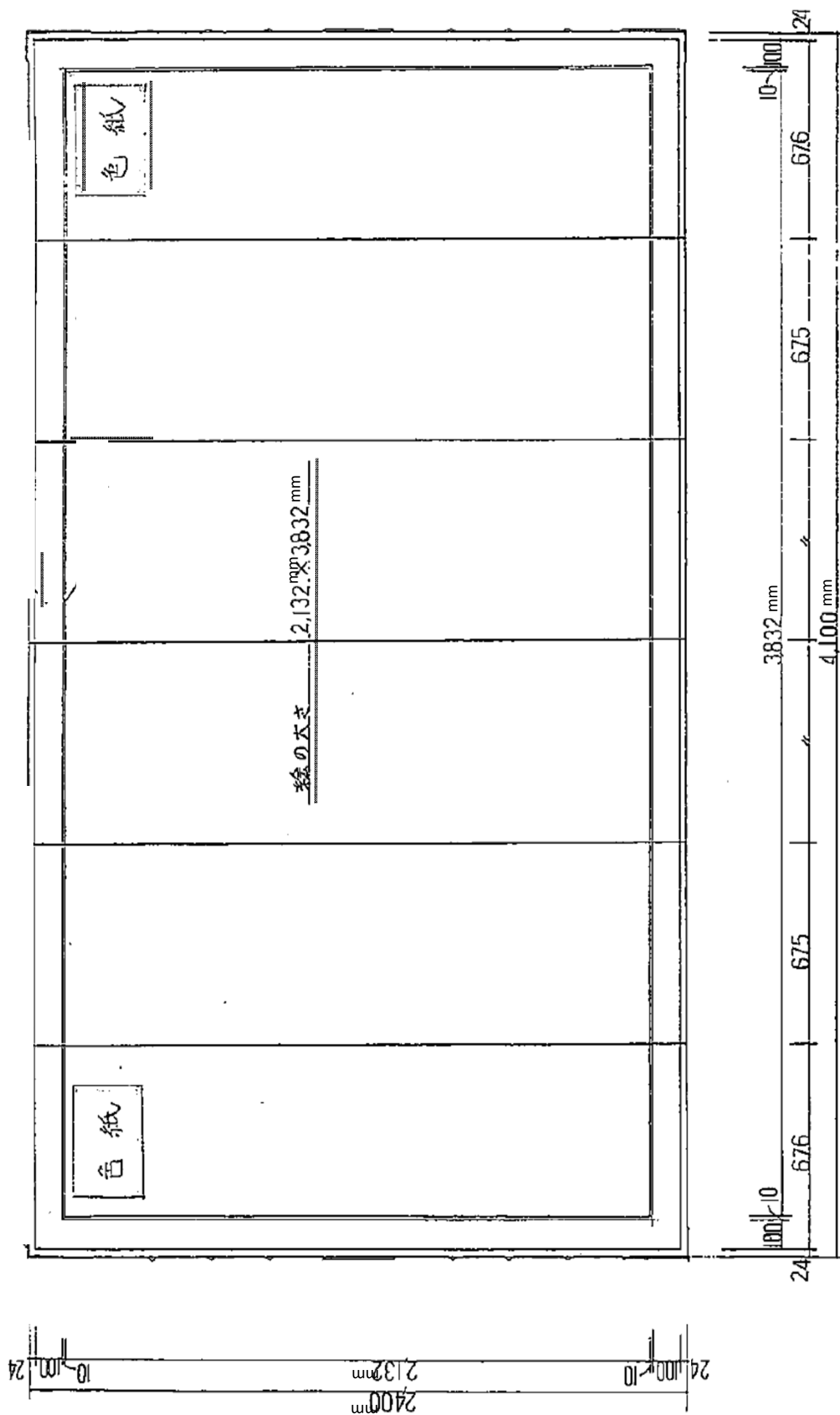
3 由来 錦軟障は皇室技芸員の今尾景年の筆によって絹に揮毫した墨絵で大正大礼の際調製したものである。昭和大礼及び平成大礼の際にも使用された。



昭和大礼録より

5 屏風 (形状, 寸法)

悠紀・主基地方風俗歌屏風



屏風: 高さ 2400 mm 幅 4100 mm 厚さ 21 mm 6 曲

6 白^{しろ}酒^き 黒^{くろ}酒^き

1. 必要量

神酒用	7 2 0
祝酒用	1 5 6 0
計	2 2 8 0

2. 醸造依頼先

次の2社に依頼する。

- | | | |
|-----------|----------|---------|
| ①宮坂醸造株式会社 | 悠紀殿用の神酒用 | 3 6 0 |
| ②月桂冠株式会社 | 主基殿用の神酒用 | 3 6 0 |
| | 大饗用の祝酒用 | 1 5 6 0 |

（理由）例年，新嘗祭のための神酒醸造を依頼しており，
技術，経験等信頼できると考えられるため。

3. 杯の素材，形状（参列者用）

素材	土器（素焼き）		
形状	（外径口作り）	（外径胴）	（高さ）
	1 0 2 mm × 3 5 mm × 2 4 mm		

9 ^{かざし}挿華^{すはま}及び洲濱

- | | | |
|---|------|-------------------------------|
| 1 | 御挿華 | 2組 |
| | 意匠 | 松・桐各1本で1組 |
| | 形状 | 高さ 20.0 cm |
| | (概略) | 最大幅 15.0 cm |
| | 材質 | 純銀 |
| | | |
| 2 | 挿華 | |
| | 意匠 | 竹・梅2本を合わせたもの |
| | 形状 | 高さ 14.5 cm |
| | | 最大幅 8.5 cm |
| | 材質 | 純銀 |
| | | |
| 3 | 洲濱 | 2個 |
| | 意匠 | 悠紀地方及び主基地方の屏風絵の題材を取り入れた銀製の置物。 |
| | 形状 | 高さ 15.5 cm |
| | (概略) | 最大巾 40.0 cm |
| | | 奥行 26.0 cm |
| | 材質 | 純銀 |